

スタッフ紹介 Staff



お名前
河鍋 晶子(かわなべ あきこ)
所属部署
居宅介護支援事業所(ケアマネージャー)
趣味
三匹の猫と戯れること、ドライブ



お名前
梅村 真路(うめむら しんじ)
所属部署
法人事業部(部長)
趣味
釣り

藤本病院に勤めて3年目になります。ケアマネージャーとして毎日楽しく、やりがいのある仕事をさせていただいています。藤本病院の居宅介護サービスは病院と連携しているのが特徴です。そのため、入院中から利用者様の状況やご要望を看護師さんたちと共有できるので、退院後のサポートをスムーズに行うことができます。利用者様やご家族様の中には、居宅での介護にさまざまな不安を感じる方がいらっしゃるかもしれません。そんなときは是非、お気軽にお問い合わせください。

私は法人事業部で、病院の資金や予算の管理、スタッフの給与計算をはじめとする雇用管理など、いわば病院の金庫番をしています。診療費の計算などをする医事課で15年働いたあと、経理課に移動し、その後今の役職に就きました。藤本病院のスタッフは皆、仕事に対して実直で、地域医療を支えるという使命感を持って働いています。私の仕事は、そんなスタッフが医療のことだけを考えて、目の前の患者様に100%向き合えるようサポートすることだと考えています。そうして縁の下の力持ちとしてスタッフやその家族の生活を守ることが、間接的に患者様を守ることにつながると信じ、日々仕事に打ち込んでいます。



花粉症を予防しましょう

春になると毎年花粉症に悩んでいる方はいませんか？花粉が体内に入ったときに免疫が過剰に反応することで鼻水などの症状が出るのが花粉症です。**そのため、自律神経を整え、免疫をアップすることが大切です♪**

食事のポイント！

- ①EPA・DHAでアレルギー症状を和らげる(鯖)
- ②発酵食品で免疫アップ(味噌) ※血圧が高い人は注意が必要です。
- ③食物繊維が多い食材(れんこん、こんぶ)



鯖の山椒焼き
五目豆 和え物 味噌汁

材料 (2人前)

- 鯖.....2切れ
- 粉山椒.....少々
- 濃口醤油.....大さじ1/2強
- みりん.....小さじ1/2強
- 料理酒.....小さじ1強
- 茄子.....1/2本

作り方

- ①鯖は調味料Aに約30分ほど漬けておく。茄子は食べやすい大きさに切り、焼いておく。
- ②①で漬けた鯖をグリルで両面焼き、粉山椒をふりかける。



〒572-0838 大阪府寝屋川市八坂町2番3号
京阪本線 寝屋川市駅 徒歩5分

午前診療 ●受付8:00~11:45 ●診療時間9:00~
午後診療 午後診は予約制です(一部除く) 詳しくはお問い合わせください。
夜間診 月・水・金 ●受付17:00~19:45 ●診療時間18:00~
072-824-1212
関連施設 ●サービス付き高齢者向け住宅シンフォニー ●介護老人保健施設ハーモニー ●居宅介護支援事業所 ●訪問看護ステーション



お役立ち介護情報 part3 自宅での生活が不安?

自宅で生活しているけれど、一人暮らしであったり、家族が勤めに出ているなど、一人の時間が長くて何かあったときに不安だという方はたくさんいらっしゃると思います。そんな場合にはサービス付き高齢者向け住宅を利用することで今までの生活に近い形で、介護スタッフの見守りを受けながら安心して暮らすことができます。

サービス付き高齢者向け住宅とは?

「サービス付き高齢者向け住宅」とは、60歳以上の高齢者の方等が安心して生活できる住宅です。外部の多種多様なサービスを併用することで、自分に合った生活を選ぶことができます。



介護保険サービス

- 訪問介護
- デイサービス・デイケア
- 訪問看護
- 訪問リハビリ

医療保険サービス

- 訪問診療
- 訪問マッサージ

自費サービス・ボランティア等

- 食事の提供
- 清掃・洗濯等の家事援助
- 健康の相談・増進等
- レクリエーション活動

ご興味ございましたら是非シンフォニーまでお問い合わせください。

認定された要介護度によって使えるサービスの種類や回数が決まります。詳しくは藤本病院居宅介護支援事業所までご相談ください。迅速に対応させていただきます。



藤本病院 居宅介護支援事務所
QRコードよりご確認ください。



介護老人保健施設 ハーモニー
QRコードよりご確認ください。



サービス付き高齢者向け住宅 シンフォニー
QRコードよりご確認ください。



「居宅介護支援事業所」「在宅診療部」「訪問看護ステーション」

病院から退院したあとの生活をサポートするケアマネージャー、病院へ通院するのが難しい患者様を訪問し、病状の把握や適切な処置を行う訪問診療・看護。これらはご高齢の方々が日々安心して生活をするために、今後ますます重要性を増していく分野です。

今回は藤本病院と連携して、こうしたサービスを提供する3つの部署から計3名のスタッフに集まってもらい、仕事の内容や日々の業務で心がけていること、コロナ禍の中で注意していることなどについて話してもらいました。



長友 誠

ながとも まこと

居宅介護支援事業所 (管理者)

板東 眞由美

ばんどう まゆみ

訪問看護ステーション (看護師)

東野 美奈子

ひがしの みなこ

在宅診療部 (看護師)

長友 まずはそれぞれの仕事内容についてですが、私が管理者として働いている居宅介護支援事業所では介護保険サービスを利用するためのケアプラン (サービス計画書) 作成やサービスを提供する事業者様との調整を行っています。

東野 私は在宅診療部で、医師と一緒に患者様のご自宅に伺って診療をしています。医師の指示に従って簡単な処置などはしますが、あとのきちんとした処置は板東さんのような訪問看護ステーションのスタッフに引き継ぎます。今は合計で100人くらいの患者様を担当していますね。

板東 私は在宅診療部から引き継いだ患者様を訪問して、薬の管理や点滴、床ずれの処置など、病院で行うような看護師の仕事、在宅でさせていただいています。

長友 みなさんはどうしてこのお仕事に？

東野 高校時代、進路を決めるタイミングで思い浮かんだのが、なぜか看護師だけだったんです。医療に興味があったし、そういう分野のテレビをよく見ていたからかもしれません。

板東 私も「いつの間にか看護師に」という感じです。小さい頃からの友人に久々に会ったときに「やっぱり看護師になったんだね」と言われたことがあるんですが、「そんなに昔から看護師になるって言ってたんだ」と自分でも驚きました (笑)。

長友 お仕事をする中で、やりがいを感じるのはどんなときですか？

東野 「先生や看護師さんに診てもらって安心しました」と言っていただいたときは、「来てよかったな」と思いますね。



板東 私もやはり「待ちました」「おかげさまで元気にやっています」といったお言葉をいただくと嬉しいです。長友さんはどうですか？

長友 立場上、利用者様のお言葉を直接もらうことはないのですが、**病院やサービス事業者様との連携がスムーズに行くと、いい仕事ができかなと思いますね。**
お二人は患者様と直接関わる時間が長いと思いますが、そのときに心がけていることはありますか？

板東 私は患者様への声かけですね。今はコロナもありますし、病気の影響で外に出るのが難しい方も多いので「外は金木犀の香りがしていますよ」とか「梅の花が咲いていましたよ」といった具合に、季節が感じられる情報をお伝えするようにしています。そういったコミュニケーションの中で、患者様の変化に気づくこともありますね。

私の場合、在宅での生活は患者様の生きる気力につながる部分があると思うので、患者様のご希望をなるべく叶えられるような処置やサポートを心がけています。

長友 先ほど少しコロナの話が出ましたが、各部署でコロナについて気をつけていることはありますか？居宅介護支援事業所ではケアマネージャーのマスク着用はもちろん、Eメールなどを使ってなるべく利用者様のご自宅に訪問する回数を減らすように工夫しています。

東野 在宅診療部では「診療は短く、的確に」を心がけています。やはり一緒にいる時間が長くなるほど、リスクは高まりますから。また、本来は月2回の訪問回数を気にされる方に対しては月1回にすることがあります。

板東 訪問看護ステーションも、接触時間・回数には注意していますね。容態が落ち着いている方で希望があれば、毎週訪問していたところを隔週にしたり、月1回にしたり。また、感染があった場合は早めにご連絡いただければ、状況に応じた対応ができるような体制を整えています。

長友 お互いにマスクをすることで感染リスクが下がるということがわかっているのも、スタッフはもちろんのこと、利用者様本人やご家族の方にもそうした対策を引き続きお願いしたいですね。

藤本病院からのお知らせ

●フジフェス

フジフェスは中止になりました。



※写真は一昨年の様子です。

いしやまめぐみ

石山 愛 (常務)

「G線上のアリア」でフジフェスデビュー予定だったのですが、非常に残念です。1年間、一生懸命練習しますので来年を楽しみにしてください。

●Instagram始めました

外来妊婦健診や入院生活、食事や産後ケアの紹介をしていきたいと思っております〜😊
日々更新していきますので、気になったらフォローしてくださいね♡



QRコードまたは
インスタで検索!

藤本病院 産婦人科

●広報チーム一同より

約2年半前から数人の職員で始まった広報チームですが、これまで、ロゴや看板、季刊誌、パンフレットやホームページ等の作成をしてまいりました。素人ながら日々研鑽の毎日でしたが、経験をすればするほど、広報の大切さを感じさせられます。来年度に向けては広告・広報の強化に努め、職員の努力が少しでも地域の方々に伝わるような活動を行っていきたく思っておりますので、今後とも、ご協力をよろしくお願い致します。

